

"ふるさとづくり"に

5千円

一般会計 124億8,400万円
特別・企業会計 142億9,297万5千円

平成19年度の市の予算が決まりました。一般会計は124億8,400万円、これに特別会計と企業会計を合わせた予算総額は267億7,697万5千円です。依然として厳しい財政状況のなか、限られた財源を有効に活用して、教育環境の充実や健康福祉、住民サービス、大学との交流など各種事業に取り組んでいきます。それでは、今年1年間の予算や仕事のあらましについて見てみましょう。

平成19年度 予算特集



住みよいまちづくりを促進

▽公共交通対策事業

新時代における 交流拠点の都市

鴨川駅をバリアフリー化に 構内にエレベーター設置など

安房鴨川駅のバリアフリー化を図るため、JRの行うエレベーターの整備やトイレの改修を支援

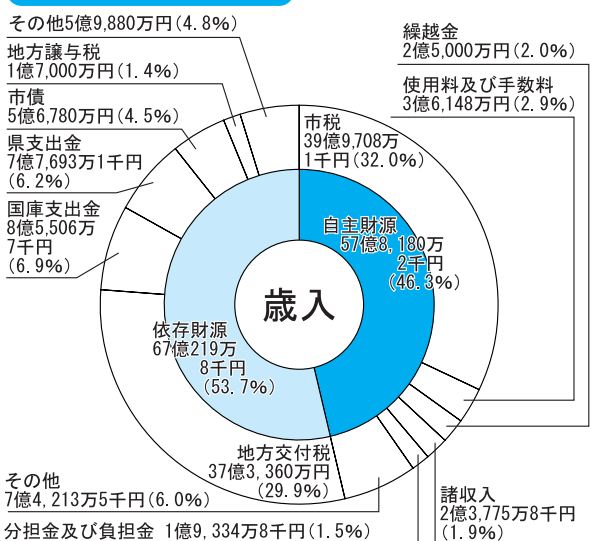
最少経費で最大効果を発揮 充実した 行政サービスに 努めます

税制改正に伴う市民税の所得割税率の変更や定率減税の廃止などにより市民税が増額となり、また固定資産税でも新築・増築家屋や償却資産が増加するなど、市税総額では昨年度比10・5%の増額

歳入の割合では、市民皆さんが納める市税は39億9708万1千円で全体の32・0%を占めています。続いて、国から交付される地方交付税は37億3360万円（構成比29・9%）、国庫支出金が8億5506万7千円（構成比6・9%）、県支出金が7億7693万1千円（構成比6・2%）などの順になっています。昨年度と比較すると、

歳入

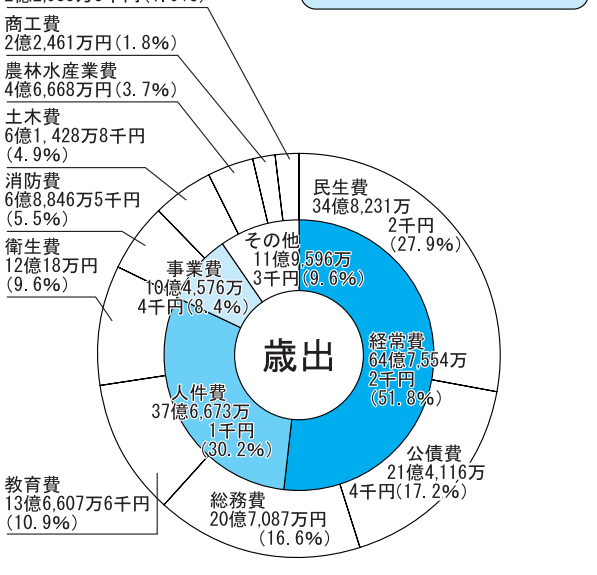
平成19年度一般会計



歳出

このほか、県支出金では、社会福祉費負担金や個人県民税徴収委託金などが増額されています。一方、国の政策により、所得譲与税と減税補てん特別交付金が廃止されま

124億8,400万円



▽観光・商工の振興

観光では、シーフェスタやサマーフェスタ、海水浴場運営など各種イベントを開催します。また、妙の浦周辺の遊歩道などを整備するため、現地調査

活気に満ちた 産業の都市

貴重な観光資源を活用した 多彩なイベントや宣伝で誘客

します。また、市民の交通手段を維持するため、廃止路線代替バスの運行を維持することも、その再編によるコミュニティバスなどの具体像を検討します。

▽道路・河川など住環境の整備

鴨川駅東口と西口を結ぶ自由通路の老朽化に伴う改修工事のほか、市道の改良・舗装、河川の護岸整備など市民生活に密着した住みよい環境づくりを進めます。

▽農業の振興

農業経営者だけでなく、農業者を支援する



地域ぐるみで鴨川の魅力を紹介

▽水産業の振興

地域ぐるみで行う農地・水を守る活動や、排水路の清掃や生き物調査など環境保全に向けた活動を支援します。また、田舎暮らしや就農を希望する都市住民へ情報発信を図り、都市との農村交流や定住化を積極的に進めます。

▽生活安全対策室の運営

消防防災課内に専門の嘱託職員を配置し、複雑化・多様化する犯罪への対策を図ります。

▽追原周辺地域振興事業

四方木地区の地域振興を図るため、四方木ふれあい施設を建設します。

▽清掃センターの改修

鴨川清掃センターと天津小湊清掃センターの老朽化に伴い、施設の改修を行います。

介護保険特別会計 29億3,324万6千円

介護を必要とする人を社会全体で支援する制度です。自立支援や介護サービスの充実を図るため、介護給付に27億4,697万1千円、介護予防事業などの地域支援事業に4,389万9千円を支出します。

老人保健特別会計 43億1,230万8千円

お年寄りの皆さんが健康で、安心して暮らしていくために欠かせない制度です。高齢者社会が進むなか、今年度は医療諸費43億1,230万1千円を計上しました。

国民健康保険特別会計 43億666万8千円

農漁業や自営業の皆さんが、万一、病気やケガなどをしたときの医療保険です。加入世帯を9,096世帯、加入者を17,560人見込んでいます。主な支出は、お医者さんにかかったときの保険給付費に28億2,943万1千円を計上しました。

特別会計

ハローワークの1日職業相談

4月11日(水)と25日(水)の2日間。場所は市役所1階求人情報コーナー。時間は午前10時～午後3時。ハローワークの職員が個別に職業相談。費用は無料。問い合わせは市商工観光課(☎7093)7837)。